

第7課 「究極の忠誠—戦場での礼拝」 11月15日 (口語訳)

暗唱聖句

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。

マタイ 6：33 (新9ページ)

日曜日 「まず契約」

問1. ヨシュア 5：1～7 (旧306ページ)

5:1 ヨルダンの向こう側、すなわち西の方におけるアモリびとの王たちと、海べにおけるカナンびとの王たちとは皆、主がイスラエルの人々の前で、ヨルダンの水を干しからして、彼らを渡らせられたと聞いて、イスラエルの人々のゆえに、心は消え、彼らのうちに、もはや元気もなくなった。5:2 その時、主はヨシュアに言われた、「火打石の小刀を造り、重ねてまたイスラエルの人々に割札を行なさい」。5:3 そこでヨシュアは火打石の小刀を造り、陽皮の丘で、イスラエルの人々に割札を行なった。5:4 ヨシュアが人々に割札を行なった理由はこうである。エジプトから出てきた民のうちの、すべての男子、すなわち、いくさびとたちは皆、エジプトを出た後、途中、荒野で死んだが、5:5 その出てきた民は皆、割札を受けた者であった。しかし、エジプトを出た後に、途中、荒野で生まれた民は、みな割札を受けていなかった。5:6 イスラエルの人々は四十年の間、荒野を歩いていて、そのエジプトから出てきた民、すなわち、いくさびとたちは、みな死に絶えた。これは彼らが主の声に聞き従わなかつたので、主は彼らの先祖たちに誓つて、われわれに与えると仰せられた地、乳と蜜の流れる地を、彼らに見させないと誓われたからである。5:7 ヨシュアが割札を行なったのは、この人々について起されたその子どもたちであった。彼らは途中で割札を受けていなかつたので、無割札の者であったからである。

月曜日 「過越祭」

問2. ヨシュア 5：10 (旧306ページ)

イスラエルの人々はギルガルに宿営していたが、その月の十四日の夕暮、エリコの平野で過越の祭を行なった。

出エジプト12：6 (旧89ページ)

そしてこの月の十四日まで、これを守つて置き、イスラエルの会衆はみな、夕暮にこれをほふり、

レビ23：5 (旧169ページ)

正月の十四日の夕は主の過越の祭である。

民数記28：16（旧230ページ）

正月の十四日は主の過越の祭である。

申命記16：4, 6（旧270ページ）

16:4 その七日の間は、国の中どこにもパン種があつてはならない。また初めの日の夕暮にはふるものの肉を、翌朝まで残しておいてはならない。

16:6 ただあなたの神、主がその名を置くために選ばれる場所で、夕暮の日の入るころ、あなたがエジプトから出た時刻に、過越の犠牲をほふらなければならない。

火曜日「再生の祭壇」

問3. ヨシュア8：30, 31（旧312ページ）

8:30 そしてヨシュアはエバル山にイスラエルの神、主のために一つの祭壇を築いた。8:31 これは主のしもべモーセがイスラエルの人々に命じたことにもとづき、モーセの律法の書にしるされているように、鉄の道具を当てない自然のままの石の祭壇であつて、人々はその上で、主に燔祭をささげ、酬恩祭を供えた。

申命記11：26～30（旧263ページ）

11:26 見よ、わたしは、きょう、あなたがたの前に祝福と、のろいとを置く。11:27 もし、きょう、わたしがあなたがたに命じるあなたがたの神、主の命令に聞き従うならば、祝福を受けるであろう。11:28 もしあなたがたの神、主の命令に聞き従わず、わたしが、きょう、あなたがたに命じる道を離れ、あなたがたの知らなかつた他の神々に従うならば、のろいを受けるであろう。11:29 あなたの神、主が、あなたの行って占領する地にあなたを導き入れられる時、あなたはゲリジム山に祝福を置き、エバル山にのろいを置かなければならない。11:30 これらの山はヨルダンの向こう側、アラバに住んでいるカナンびとの地で、日の入る方の道の西側にあり、ギルガルに向かいあって、モレのテレビンの木の近くにあるではないか。

申命記27：2～10（旧284ページ）

27:2 あなたがたがヨルダンを渡つてあなたの神、主が賜わる国にはいる時、あなたは大きな石数個を立てて、それにしつくいを塗り、27:3 そしてあなたが渡つて、あなたの先祖たちの神、主が約束されたようにあなたの神、主が賜わる地、すなわち乳と蜜の流れる地にはいる時、この律法のすべての言葉をその上に書きしるさなければならない。27:4 すなわち、あなたがたが、ヨルダンを渡つたならば、わたしが、きょう、あなたがたに命じるそれらの石をエバル山に立て、それにしつくいを塗らなければならない。27:5 またそこにあなたの神、主のために、祭壇、すなわち石の祭壇を築かなければならない。鉄の器を石に当てず、27:6 自然のままの石であるあなたの神、主のために祭壇を築き、その上であなたの神、主に燔祭をささげなければならない。27:7 また酬恩祭の犠牲をささげて、その所で食べ、あなたの神、主の前で喜び楽しむな

ければならない。27:8 あなたはこの律法のすべての言葉をその石の上に明らかに書きしるさなければならない」。27:9 またモーセとレビビとたる祭司たちとは、イスラエルのすべての人々に言った、「イスラエルよ、静かに聞きなさい。あなたは、きょう、あなたの神、主の民となった。27:10 それゆえ、あなたの神、主の声に聞き従い、わたしが、きょう、命じる戒めと定めとを行わなければならない」。

水曜日「石に刻む」

問4. ヨシュア 8：32～35（旧 312 ページ）

8:32 その所で、ヨシュアはまたモーセの書きしるした律法を、イスラエルの人々の前で、石に書き写した。8:33 こうしてすべてのイスラエルびとは、本国人も、寄留の他国人も、長老、つかさびと、さばきびとと共に、主の契約の箱をかくレビビとである祭司たちの前で、箱のこなたとかなたに分れて、半ばはゲリジム山の前に、半ばはエバル山の前に立った。これは主のしもべモーセがさきに命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。8:34 そして後、ヨシュアはすべての律法の書にしるされている所にしたがって、祝福と、のろいとに関する律法の言葉をことごとく読んだ。8:35 モーセが命じたすべての言葉のうち、ヨシュアがイスラエルの全会衆および女と子どもたち、ならびにイスラエルのうちに住む寄留の他国人の前で、読まなかつたものは一つもなかつた。

問5. 申命記 4：31（旧252ページ）

4:31 あなたの神、主はいつくしみの深い神であるから、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、またあなたの先祖に誓った契約を忘れられないであろう。

申命記 6：12（旧255ページ）

6:12 その時、あなたはみずから慎み、エジプトの地、奴隸の家から導き出された主を忘れてはならない。

申命記 8：11、14（旧258ページ）

8:11 あなたは、きょう、わたしが命じる主の命令と、おきてと、定めとを守らず、あなたの神、主を忘れることのないように慎まなければならない。

8:14 おそらく心にたかぶり、あなたの神、主を忘れるであろう。主はあなたをエジプトの地、奴隸の家から導き出し、

王下17：38（旧548ページ）

17:38 わたしがあなたがたと結んだ契約を忘れてはならない。また他の神々を敬ってはならない。

詩篇78：7（旧815ページ）

78:7 彼らをして神に望みをおき、神のみわざを忘れず、その戒めを守らせるためである。

木曜日「主の臨在を切望する」

問6. ヨシュア 18：1, 2（旧325ページ）

18:1 そこでイスラエルの人々の全会衆は、その地を征服したので、シロに集まり、そこに会見の幕屋を立てた。18:2 その時、イスラエルの人々のうちに、まだ嗣業を分かち取らない部族が、七つ残っていたので、

問7. ヘブル6：19, 20（新348ページ）

6:19 この望みは、わたしたちにとって、いわば、たましいを安全にし不動にする錨であり、かつ「幕の内」にはいり行かせるものである。6:20 その幕の内に、イエスは、永遠にメルキゼデクに等しい大祭司として、わたしたちのためにさきがけとなって、はいられたのである。

ヘブル9：11, 12（新351ページ）

9:11 しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり、9:12 かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。

ヘブル10：19～23（新353ページ）

10:19 兄弟たちよ。こういうわけで、わたしたちはイエスの血によって、はばかることなく聖所にはいることができ、10:20 彼の肉体なる幕をとおり、わたしたちのために開いて下さった新しい生きた道をとおって、はいって行くことができるのであり、10:21 さらに、神の家を治める大いなる祭司があるのだから、10:22 心はすすぐれて良心のとがめを去り、からだは清い水で洗われ、まごころをもって信仰の確信に満たされつつ、みまえに近づこうではないか。

10:23 また、約束をして下さったのは忠実なたであるから、わたしたちの告白する望みを、動くことなくしっかりと持ち続け、